

令和8年度 1学期 始業式 講話

■令和8年 4月8日 No.31「さくら1」

①おはようございます。令和8年度の始業式です。みなさん、あらためてご進級おめでとうございます。1つ学年が上がったのですから、今まで以上にがんばれると思いますので、素敵な1年間となるようよろしくをお願いしますね。

②特に、6年生のみなさんは、この学校の最高学年になりました。リーダーとして下の学年をまとめながらも、この大宮西小学校で過ごす最後の1年間を悔いの残らない1年間にしてくださいね。

③また2年生は、1年生が新しく入ってきて、後輩ができます。お兄さん、お姉さんとして1年生にやさしくしてあげてくださいね。

④さて、1年の始まりです。みなさんには、今年度はこれがんばりたいという目標がありますか。ない人はぜひ一つだけでもいいので、立ててみてください。人間、目標があると、いろいろがんばれるものです。そうすると、素敵な1年間になりやすいです。

⑤では、どんな目標を立てますか？勉強、スポーツがんばる？遅刻をしない、おそうじがんばる、色々あるかと思いますが、いずれも、口先だけでなく、心からそう願ったものかいいかと思います。このことを、今日は今ちょうど満開になっている桜の花になぞらえてお話したいと思います。

⑥このタオルを見てください。きれいなピンク色をしています。これはある植物で染めたタオルなのですが、何でそめたのでしょうか？少し周りの人と聴き合ってみてください。ヒント、お花の色です。



⑦正解は、桜で染めたタオルなのです。ここからは、この間の卒業式でお話とかぶりまますので、5年生は復習として聞いていてくださいね。では、この桜で染めたといいましたが、桜のどこを使って染めたのでしょうか？次の3つの中から選んでみてください。1番 緑の葉っぱ 2番 茶色い小枝 3番 ピンクの花びら。どれでしょう？周りの人と聴き合ってみてください。

⑧正解は、2番の茶色の小枝なのです。しかも、今の小枝ではだめで、もう少しで花が咲きそうな、枝の先に花のつぼみがついているような小枝、これをまず切ります。もちろん、切られた小枝のつぼみは咲きません。つまり、この桜染めは、桜の花の命で染めるのです。

⑨その、小枝をたくさん大きなお鍋に入れてぐつぐつ煮込んだり、冷ましたり、またまた煮だしたり、こんなことを10日以上繰り返します。すると、まっ茶色の汁ができ、そこに白い布を入れて中で1～2分泳がせます。そしてそーっと引き上げると、匂い立つような、淡いピンクの色に布が染まっているのです。

⑩桜の木は冬の間は枯れているように見えます。しかし、根っこからはどんどんピンク色の成分を吸い上げて、茶色い木の皮のところにためていっているのです。そしてだんだん温かくなると、そのピンク色の成分が大きな幹から、枝へ移り、3月の終わりごろになると、さらに細かい小枝にうつり、その先からピンク色は吹き出すようにして、桜の花が咲くのです。不思議ですよ。

⑪これは、言葉の世界と同じだと思いませんか？言葉は、口から出ていますが、頭で考えた言葉が口から出て、さらに心で感じたことが頭を動かしているのです。だから、ときどき自分のいいたいことが相手に伝わらないなあということ、ありあませんか？そんなときは、口だけでしゃべっているときなのです。心で感じ、頭で考えた言葉でないと、相手に気持ちは伝わりにくいのです。

⑫1年間の目標を立てるときも、このことを思い出してくださいね。「お友達と同じでいいや」とか簡単に決めるのではなく、まず去年の反省をして、本当にこの1年間がんばりたいと思うこと、心で感じて頭で考えたことを、1年の目標にしてくださいね。

⑬最後に今日のお題です。桜は、さきほど温かくなったら咲くと言いましたが、実は日本中どこでも咲くわけではないのです。なんと、一番温かい県、どこですか？そう沖縄県では咲かないのです。え？一番温かい県で咲かないとは、どういうことでしょうか？答えがひらめいたよーという人は、校長室前のボードに書きにきてください。

今日も最後まで静かに聞いていただき、ありがとうございました。